

特別内覧会
実施中
高松建設
TakaMatsu
詳しくは 高松建設 検索

朝の詩
節分草
岡山県井原市
山崎 範雄 84

里山の木陰
極寒のさなか
：明日は節分よ
節分草が
たおやかに咲く

明くれば立春
心が浮き立つ春
節分草は
時のうつろいを
ちゃんと知っている

(選者 新川和江)

産経新聞

平成29年(2017) 日刊26617号
2|2 [木]
産経新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN
発行所 ©産経新聞大阪本社 2017
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57
☎大阪(06)6633-1221(大代表)

紙面・記事へのご意見・お問い合わせ
06-6633-9066 (平日9時~18時、土曜9時~17時、日祝日休み)
o-dokusha@sankei.co.jp
販売・配達に関するお問い合わせ
06-6633-9357 (平日9時~19時、土日祝日9時~17時)
http://o-sankei-hanbai.com/c/ (平日のみ)
購読のお申し込み
0120-34-3733 (平日9時~19時、土日祝日9時~17時)
http://reader.sankei.co.jp/reader/

目の
疲れ・
充血に。

サンテメディカル12[®]

第2新薬特許品 Santen

ネット検索のイメージ

○×太郎の現在... 会社を解雇され...

www.xxoo.com

2010/11/7 警視庁は雑誌を万引したとして
窃盗の疑いで、会社員、○×太郎容疑者を逮捕...

今日○×太郎さんと会いました... ××ブログ

www.xxoo.com

サイトの抜粋

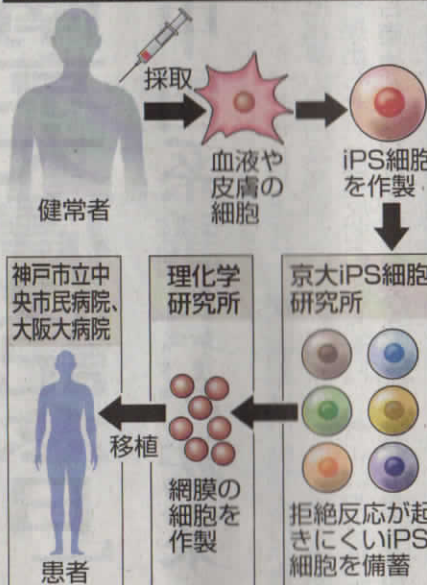
サイト検索結果削除に基準 最高裁初判断 逮捕歴 公共性考慮

過去に逮捕歴のある男性が、インターネット検索サイト「グーグル」の検索結果から逮捕に関する記事を削除しよう米グーグルに求めた仮処分申し立てで、最高裁第3小法廷(岡部喜代子裁判長)は「検索事業者の表現の自由と比較して、プライバシーが優越することが明らかな場合に、検索結果の削除を求めることができる」とする初の基準を示した。その上で、削除を認めなかった東京高裁決定を支持した。5裁判官全員一致の結論。決定は1月31日付。男性の申し立てを認めたいと地裁決定は国内で初めて「忘れられる権利」を認定したが、同小法廷は言及しなかった。

また、同小法廷は同日付で、検索結果削除や予測表示の差し止めを求めた4件の訴訟について原告側の上告を退ける決定をした。いずれも請求を認めない判断が確定した。

検索事業者への削除請求について最高裁が判断するのは初めて。各地の同種訴訟に影響を与えそうだ。

他人由来のiPS細胞臨床研究



理研は平成26年、患者自身の細胞から作ったiPS細胞を使って「滲出型加齢黄斑変性」という重い目の病気の患者に網膜細胞を移植する世界初の臨床研究を実施。手術は成功したが、より低費用で短期間に行うことが課題になっていた。

今回の計画では、拒絶反応が起きにくい免疫型を持つ健康者の血液から、あらかじめ作って備蓄したiP

時間・費用減普及へ一歩

他人のiPS細胞を使う新たな臨床研究は、再生医療の本格的な普及に向けて大きな一歩となる。iPS細胞は山中伸弥京都大教授が平成18年に発見してからわずか10年で、実用化を目指す研究が山場を迎える。

iPS細胞は受精卵から作る胚性幹細胞(ES細胞)と違って患者自身の皮膚などから作れるため、拒絶反応を回避できる利点がある。だが作製に手間がかかり、理研チームによる最初の移植は準備に11カ月、費用は約1億円に上った。これでは普及は難しい。

解決の切り札として山中教授が力を入れてきたのが他人のiPS細胞の備蓄だ。健康なボランティアの協力を得て、拒絶反応が起きにくい免疫型を持つiP

他人の細胞から作った人工多能性幹細胞(iPS細胞)で網膜の細胞を作製し、患者に移植する理化学研究所などの臨床研究について厚生労働省の再生医療等評価部会は1日、計画を了承した。今年前半にも手術が行われる。他人由来のiPS細胞を使う臨床研究は世界初。再生医療の研究は費用低減などで実用化を目指す新たな段階に入る。

理研など作製

人工多能性幹細胞(iPS細胞)皮膚や血液など特定の役割を持つ細胞に人工的に遺伝子を入れ、さまざまな細胞に変化する能力を持たせた細胞。培養条件を変えることで神経や心臓、網膜などの細胞になる。山中伸弥京都大教授が平成18年にマウスで作製、24年にノーベル医学・生理学賞を受賞した。臓器や組織で失われた働きを取り戻す再生医療に役立つと期待され、京大は移植しても拒絶反応が少ない型の人からiPS細胞を作製し備蓄。27年から研究機関に提供している。

他人のiPSで網膜移植 世界初 今年前半にも



【ソウル=桜井紀雄】韓国次期大統領選の有力候補、潘基文前国連事務総長

S細胞を蓄えておき、研究機関に低コストで迅速に提供するため、32年度末までに国民の8割の免疫型をカバーする態勢を目指している。

患者自身の細胞を使う理研の研究では、2人目の患者の細胞に遺伝子変異が見

知る権利 安易な削除
せぬ検索サイトの役割を「情報流通の基盤」と位置づけ「知る権利」の制約につながる安易な削除を戒めた。最高裁決定の特徴の一つ

仮処分の判断で同小法廷は「検索結果の提供は、検索事業者の表現行為」という側面を持つ」と指摘。必要な情報を探すのを助ける検索サイトには「情報流通の

決定骨子

- 検索結果の提供は検索事業者の表現行為。ネット上の情報流通に大きな役割を果たしている
- 検索結果提供が違法かどうかは、情報を公表する価値とプライバシー侵害を比較して判断
- プライバシー保護が明らかに優越する場合、削除を請求できる

「基盤」としての役割があるとした。その上で、表示される事実の性質や内容、具体的な被害の程度、記事の目的や意義などを検討し、表現の自由とプライバシーのどちらを優先して保護するか判断すべきとした。

男性については逮捕容疑が社会的非難の対象とされる児童買春で、名前だけでなく居住地も入力しなければ検索結果が表示されないことも踏まえ、削除は認められないと結論づけた。

男性は児童買春・児童ポ

「猫毛フェルト」魅力知って 京都・下京で作品展



「猫毛フェルト」で作られた猫の
人形の作品—京都市下京区

ブラッシングで抜けた猫の毛で作られた「猫毛フェルト」を素材にした人形などを集めた作品展「猫毛ま

つり in 京都2017」が、京都市下京区のカフェ「KITTEN COMPANY」で開かれている。猫毛フェルトは、一般的な羊毛などのフェルトと同様、猫の毛を集めて水に浸して洗濯用洗剤を入れ、布状にまとめて作る。柔らかい手触りが特徴で、飼い猫を触っているような感覚を味わえるため、愛猫家の人気を集めているという。東京の猫毛フェルト作家、眞谷香理さんが「飼いたい猫の毛を何かに活用できないか」と発案し、平成14年から作品を制作。22年からは、多くの人に猫毛フェルトの魅力を知ってもらいたいと、全国で作品展を開いている。会場には、フォトフレームの「ドア」に猫毛フェルトで作った猫の顔を取り付け、開くと毛の持ち主の猫の写真が現れる「猫毛ポトレート」や猫毛でつくった猫の人形など作品約25点が並ぶ。猫毛フェルトで作った肉球をあしらったイヤリングやヘアピンなどのグッズ販売もある。入場にはカフェで1品注文することが必要。12日には眞谷さんによる猫毛フェルト教室もある(有料、要予約)。申し込みは眞谷さん(bon-nak@mbi.nifty.com)。



伝統は常に革新の連続

もに、「外からの視点」で気づかされること、と深く胸に刻まれた。

■外からの視点

江戸時代から続く「日吉屋」を継いだのは平成16年。当時は売り上げが減り、廃業寸前の状態だったという。昭和20年代の最盛期には全国で年間1700万本生産されていた和傘だが、50年代に200万本以下にまで落ち込んだ。京都市内に200軒ほどあった和傘の製造元も日吉屋1軒のみとなった。平安時代に仏教とともに中国から伝来したとされる和傘は、江戸時代にファッションアイテムのひとつとして庶民の間に広まった。「現代では歌舞伎や野だてなど限られた

■老舗ベンチャー

「伝統は昔から変わらないもの、という考えは誤り」だ



京和傘製造「日吉屋」5代目当主 西堀耕太郎さん(42)

■母国への誇り

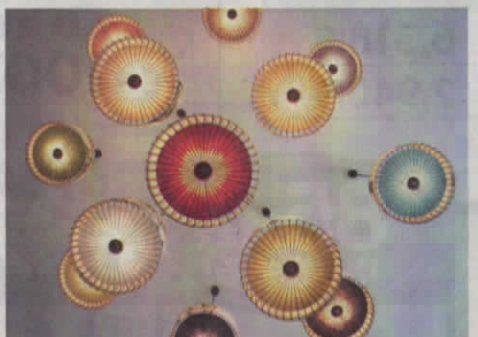
父が英語塾を営んでいたこともあって、英語が得意だった。さらに語学に磨きをかけようと、高校卒業後、ワーキングホリデーなどを利用して約1年半にわたりカナダで学んだ。

日本食レストランでアルバイトをしながら勉強していたとき、現地の人から「東京の人口はどのくらい?」「歌舞伎って何?」と次々に日本に関する質問を受けた。「でも答えられなかった。母国のことを何も知らなかったことに気がついた」と振り返る。

周りを見渡せば、母国のことを誇らしげに話す人であふれていた。海外で初めて強烈に日本のことを意識すること



ホテルのカフェラウンジで宿泊客を迎えるランプの優しい光 —京都市中京区



ランプを見上げると色鮮やかな和傘を思い起こさせる —京都市中京区

という。「伝統を受け継がれてきたのは、常に革新を続けてきたから。時代のニーズに合わせて変化してきたからこそ生き残ってきたんです」

平成24年、日本の伝統工芸品を海外に売り込んでいくた

例えば、漆器に「外からの視点」を取り入れた。日本ではお祝い膳や汁わんとしての用途のイメージが強いが、フランスのアドバイザーは「薄く削る」技術に注目し、繊細な木製の食器を作製。中国のアドバイザーは「塗る」技術に着目し、美しい色合いのランチボックスを生み出した。文化的背景が異なる海外の視点を取り入れることで、新たな魅力を発見できた、という。

「伝統に新たな革新を加える。この仕事はいわば『老舗ベンチャー』です」。これまで約130社の海外展開を支援してきたが、将来は3千社を目指している。

文 北崎諒子
写真 寺口純平

おすすめスポット

京都を静かに散策するのが好きだという。お気に入りなのは、嵯峨野の「化野念仏寺」(京都市右京区)。約8千体の石仏が醸す静寂が落ち着きを与えてくれる。紅葉と桜の時期が特におすすめという。鴨川沿いの道や、赤レンガ造りの建物が美しい同志社大学(同市上京区)も好きだ。「京都には、落ち着ける穴場スポットがたくさんある。歩いてみると楽しいですよ」と話した。

京都・滋賀

地域ニュース

うめきたガーデン情報
2月2日(木)

今咲いている花
ハボタン園の一角に赤とピンクのチューリップが咲いています。10日から開催する「真冬のチューリップ祭」の予告花で2万本が色とりどりの花を咲かせます。花言葉は色によって違いますが、全般では「思いやり」だそうです。

3月20日まで無休
(午前10時～午後5時)
一般1000円、小・中・高生500円
「うめきたガーデン事務局」
☎06・6633・2274